2022年3月期
決 算 説 明 会

Trans Genic Inc.

～人々の健康と豊かな暮らしのために～
https://www.transgenic.co.jp

2022年5月26日
株式会社トランスジェニック

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

Table of Contents

目　次

Ⅰ. 2022年3月期連結決算概要 …… 2

Ⅱ. 「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」の進捗状況 …… 7

Ⅲ. 2023年3月期連結業績予想 …… 18

Ⅳ. その他 …… 20

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

Ⅰ．2022年3月期連結決算概要

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

2022年3月期連結決算：ハイライト

TransGenic Inc.

PCR検査受託売上が大幅に伸長し過去最高数値を更新

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	増減率（%）
売上高	11,046	12,576	13.9
売上原価	8,269	8,740	5.7
売上総利益	2,777	3,835	38.1
販管費	1,883	1,998	6.1
営業利益	893	1,837	105.7
経常利益	891	1,819	104.0
親会社株主に帰属する当期純利益	546	1,876	243.5

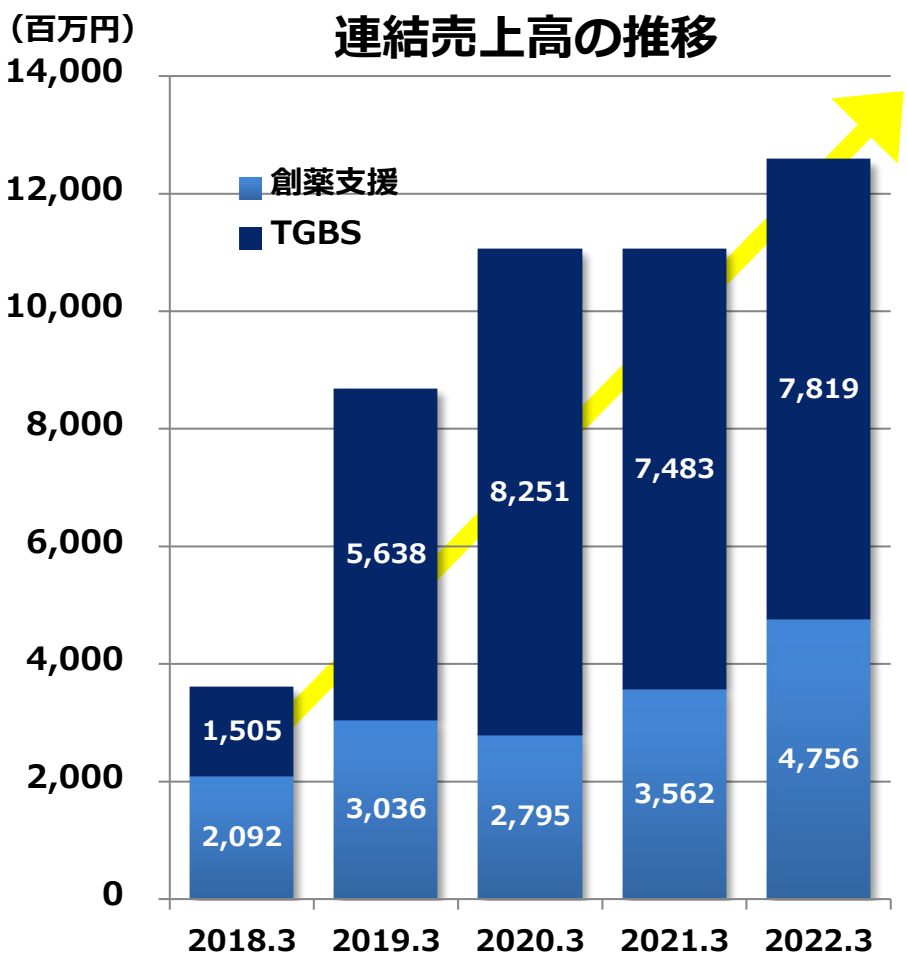
Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

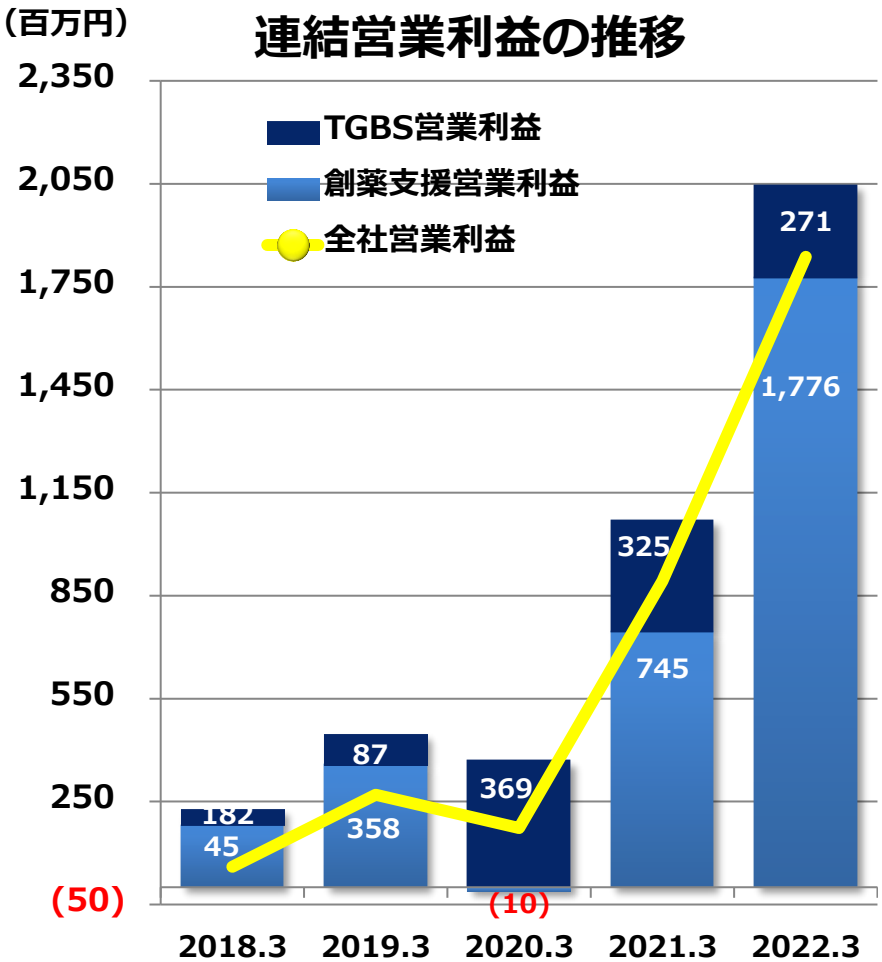
Overview of Sales Revenue-Trans Genic group

トランスジェニックグループ業績推移

Trans Genic Inc.

創薬支援事業とＴＧＢＳ事業とが補完し合い連結業績は拡大
PCR検査受託が大幅に伸長し過去最高業績

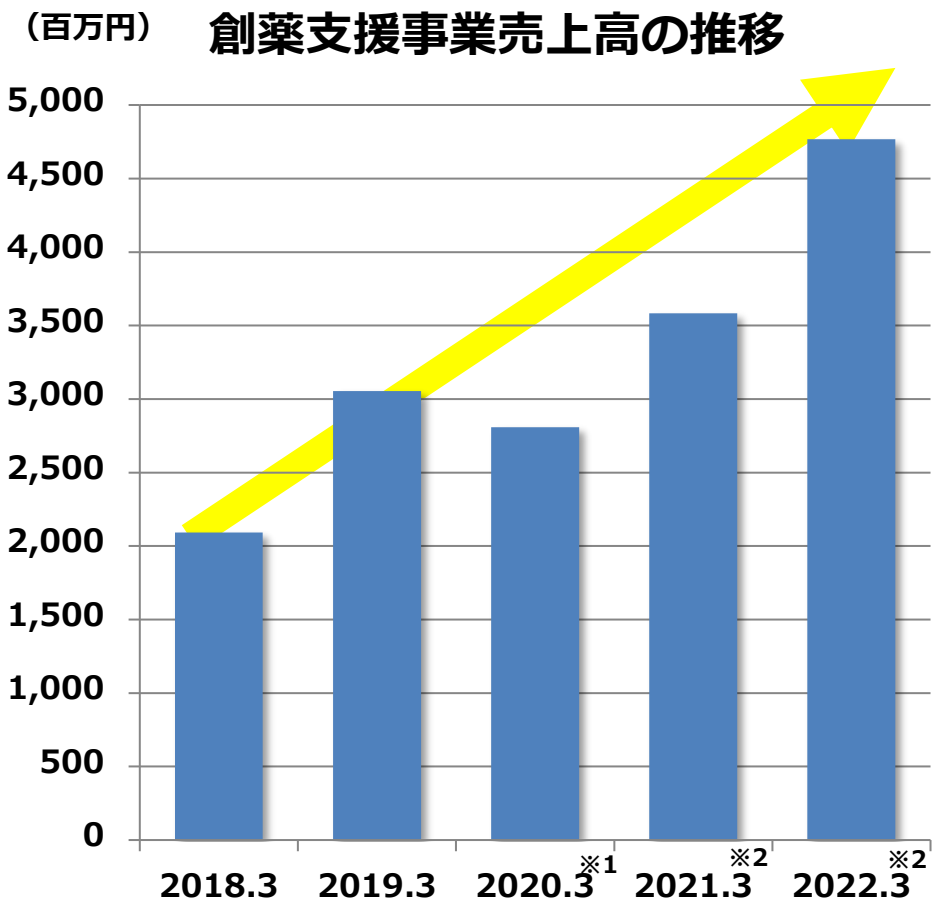


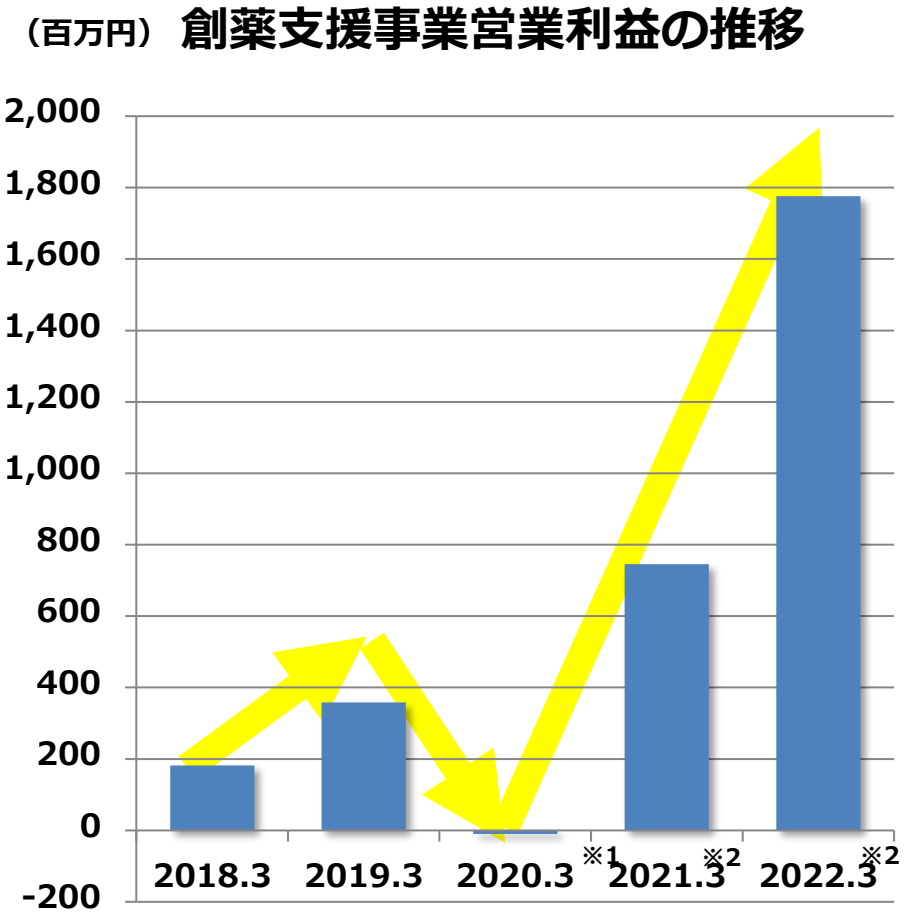


Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

創薬支援事業の業績推移

PCR検査受託売上が大幅に伸長し大幅な増収増益





※1 2020年3月期は、㈱安評センターにおける受注獲得体制強化に向けた先行投資負担により大幅な減益となった。
※2 2021年3月期及び2022年3月期は、コロナ禍を受けグループで実施したPCR検査受託が大幅に伸長（前期9.4億、当期19.2億）した結果、大幅な増収増益となった。

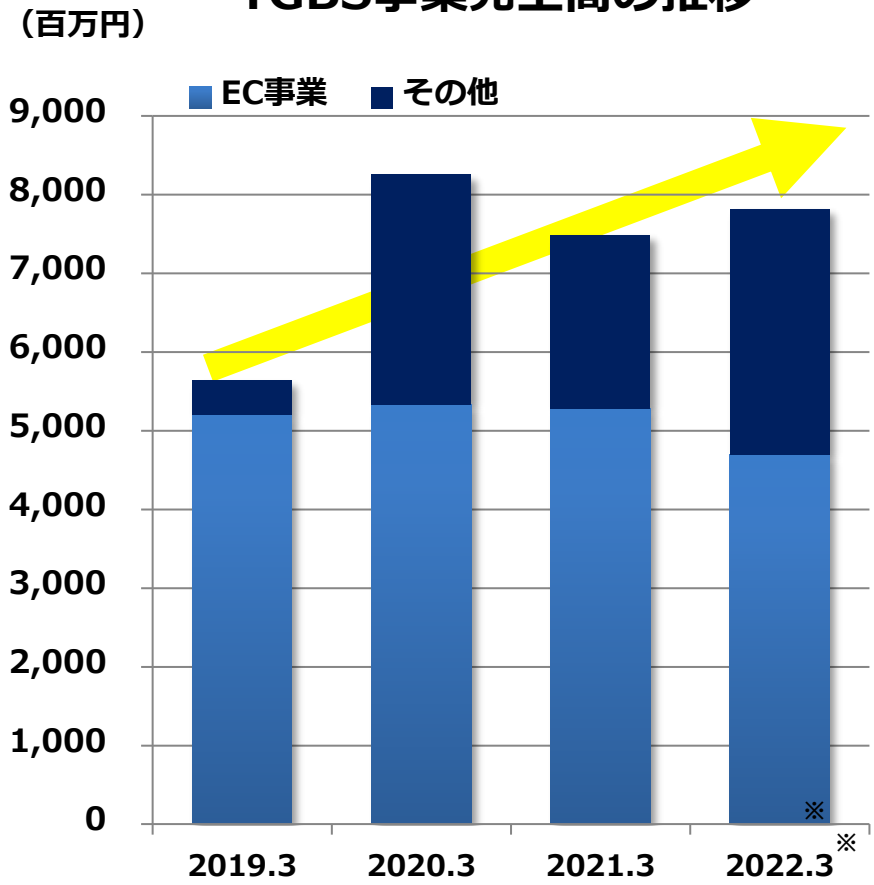
Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

TGBS事業の業績推移

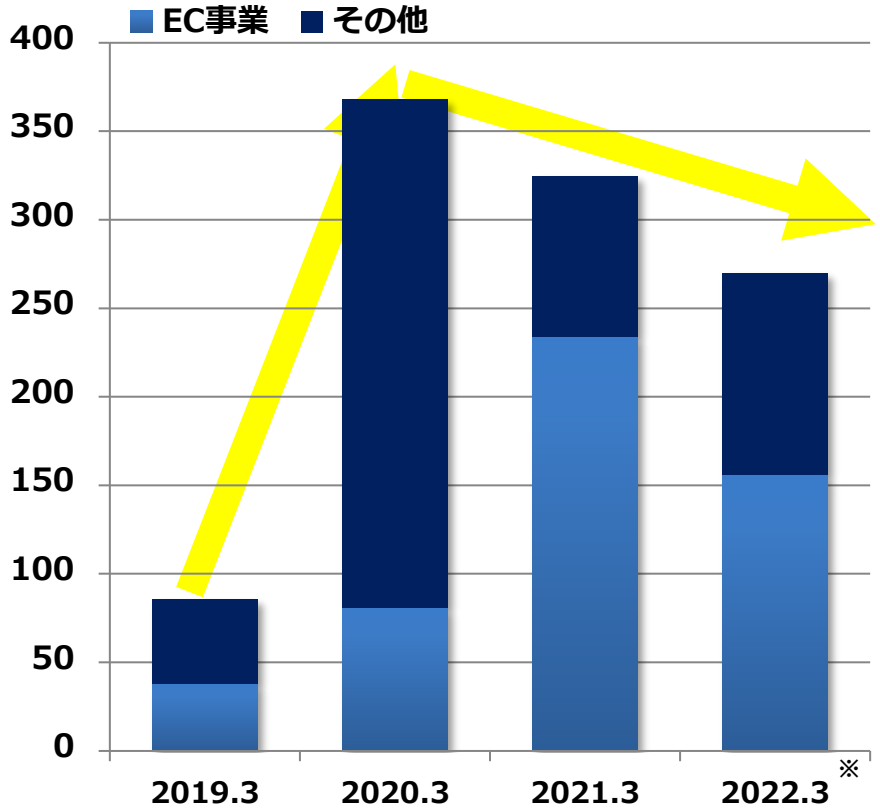
Trans Genic Inc.

コロナ禍で苦戦はしているが利益構図を維持し堅調に推移

TGBS事業売上高の推移



TGBS事業営業利益の推移



※2021年3月期は、海外からの人・物の移動制限を受けて、主に商社事業で構成されている「その他」事業の売上、利益が悪化した一方で、コロナ禍を受けた巣籠り特需によりEC事業の営業利益が大幅に伸びた。2022年3月期は、前期の巣籠り特需の反動及び消費低迷を受けてEC事業が減収減益となるも、「その他」事業の売上、利益については増収増益となった。

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

Ⅱ．「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」の進捗状況

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

トランスジェニックグループ事業概要

Trans Genic Inc.

トランスジェニックグループは、

最先端のバイオテクノロジー技術で基礎研究～臨床試験までのシームレスなサポートを提供する
『創薬支援事業』および
幅広い事業分野を対象に事業承継型M＆Aを展開する
『 TGBS事業 』 の両輪による

Hybrid型で持続的な成長を実現

【グループ事業構図】

Trans Genic Inc. ※2021年4月1日に純粋持株会社に移行

創薬支援事業

グループ企業6社※で構成

- 基礎・探索・創薬研究から非臨床・臨床まで網羅したシームレスな創薬支援サービスを展開
- ゲノム編集技術の他、糖鎖合成・解析等の最先端テクノロジーを保有

進捗

・2021年11月1日付で株式会社ルナパス毒性病理研究所の全株式を取得。
・2022年1月1日付で株式会社ジェネティックラボの全株式を譲渡。

TGBS事業（事業承継型M＆A）

グループ企業主要6社※で構成

- 創薬支援事業の収益変動を補完する目的で収益性・安定性を主眼に事業承継型M&Aを展開

進捗

・2021年9月1日付で株式会社ホープの全株式を取得。

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

成長戦略の基本方針

最先端のバイオテクノロジー技術で展開する創薬支援事業と投資・コンサルティングを展開するTGBS事業との両輪によるHybrid型経営を推進し、継続的企業価値拡大を実現

創薬支援事業

- 高収益だが業績が凸凹に大きく変動しながら規模を拡大
- 事業部の業績拡大は既存サービス拡充か新規サービス開始で実現
- 業績拡大には、一般的に人・設備に対する多額の先行投資が必要
- 事業グループ横断的な研究開発体制の強化

TGBS事業

- 急激な外部環境変化がない限り売上規模及び利益率は安定
- 事業部の業績拡大は、事業承継案件を主とするM&Aで実現
- M&A資金を除き、特段大きな先行投資は不要

両事業セグメントの特徴及び連結利益・資金収支の拡大を活かしたHybrid型経営で両事業の拡大を推進

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

成長戦略_創薬支援事業における2022年3月期 設備投資進捗

TransGenic Inc.

設備投資 （2022年3月期計画）※2	㈱安評センター　：LC-MS※1増設及び新規実験機器へ総額約1億80百万円投資予定 ㈱新薬リサーチセンター：新規実験用機器へ総額約40百万円投資予定

※１ LC-MS（Liquid Chromatography Mass Spectrometry）
LC-MS装置は、高速液体クロマトグラフ法（HPLC）の一種に分類され、液体中の成分を固定相と移動相の相互作用の差を用いて分離し、質量検出器で検出する方法。
※２ 2023年3月期以降も新規サービス導入、既存サービス拡充のため同水準の投資を継続予定。

進捗

2022年3月期設備投資実績	
㈱安評センター	**総額2億66百万円の投資を実施** **・鼻部ばく露吸入実験装置 SIS-R24-B型導入** **・実験大動物用次世代デジタルテレメトリーシステム※1システム導入** **・小・中型実験動物用3DマイクロX線CTシステム CosmoScan AX導入** **・超高感度LC-MS導入**
㈱新薬リサーチセンター	**総額25百万円の投資を実施** **・微量生体試料分析装置HPLC-ECD/HTEC-510導入**

※１ テレメトリーとは、遠隔操作で計測することで、非臨床試験においては実験動物に計測装置を装着し、無麻酔・非拘束条件下で血圧、心拍数、心電図を測定すること。

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

成長戦略_創薬支援事業における2022年3月期 研究開発進捗

TransGenic Inc.

研究開発

【㈱安評センターにおける重点開発テーマ】
- 新型コロナウイルスレセプターヒト化マウス
（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）研究用エクソンヒト化マウス）
- 肝臓ヒト化マウス

【医化学創薬㈱における重点開発テーマ】
- 抗SARS-CoV-2スパイクタンパク抗体開発

進捗

研究開発計画		2022年3月期進捗状況
新型コロナウイルスレセプターヒト化マウス	㈱安評センター	**・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）研究用エクソンヒト化マウス完成** **・国立大学法人熊本大学及び当社子会社の医化学創薬株式会社とのACE2エクソンヒト化マウスを用いたSARS-CoV-2スパイクタンパク抗体に関する共同研究契約締結**
肝臓ヒト化マウス	㈱安評センター	開発中
抗SARS-CoV-2スパイクタンパク質抗体	医化学創薬㈱	開発中 熊本大学と共同研究中

上記のほか、事業グループ横断的な研究開発体制の強化を進めてまいります。

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

成長戦略_創薬支援事業における2022年3月期 M&A投資進捗

M&A	・従前同様に、現在展開している創薬支援サービスの補完・強化が期待できる事業体について、M&Aを継続的に検討する。

進捗

M&A計画	2022年3月期実績
現在展開している創薬支援サービスの補完・強化が期待できる事業体について、M&Aを継続的に検討する	**株式会社ルナパス毒性病理研究所の株式取得合意によるCRO事業の強化（2021年11月1日に子会社化）**

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

成長戦略_創薬支援事業における今後の投資計画

TransGenic Inc.

強固な財務基盤及び事業収支を背景に、更なる事業拡大に向けた投資を積極的に行う計画

設備投資
（2023年3月期計画）

３社で機器投資約１億円、更新投資約１億円、総額２億円強の投資を実施予定

㈱安評センター　：新規実験用機器関連へ総額約40百万円
研究所施設等の更新へ総額約70百万円投資予定

㈱新薬リサーチセンター：動物飼育施設・実験用機器関連へ総額約25百万円
研究所施設等の更新へ総額約45百万円投資予定

医化学創薬㈱　：分析装置NMR等※1へ総額約30百万円投資予定

※１NMR（Nuclear Magnetic Resonance（核磁気共鳴））
NMRは、原子核を磁場の中に入れて核スピンの共鳴現象を観測することで、物質の分子構造を原子レベルで解析するための装置で分子構造を原子核レベルで測定資料を非破壊で測定できます。

研究開発

【㈱安評センターにおける重点開発テーマ】
・肝臓ヒト化マウス

【医化学創薬㈱における重点開発テーマ】
・抗SARS-CoV-2スパイクタンパク抗体開発

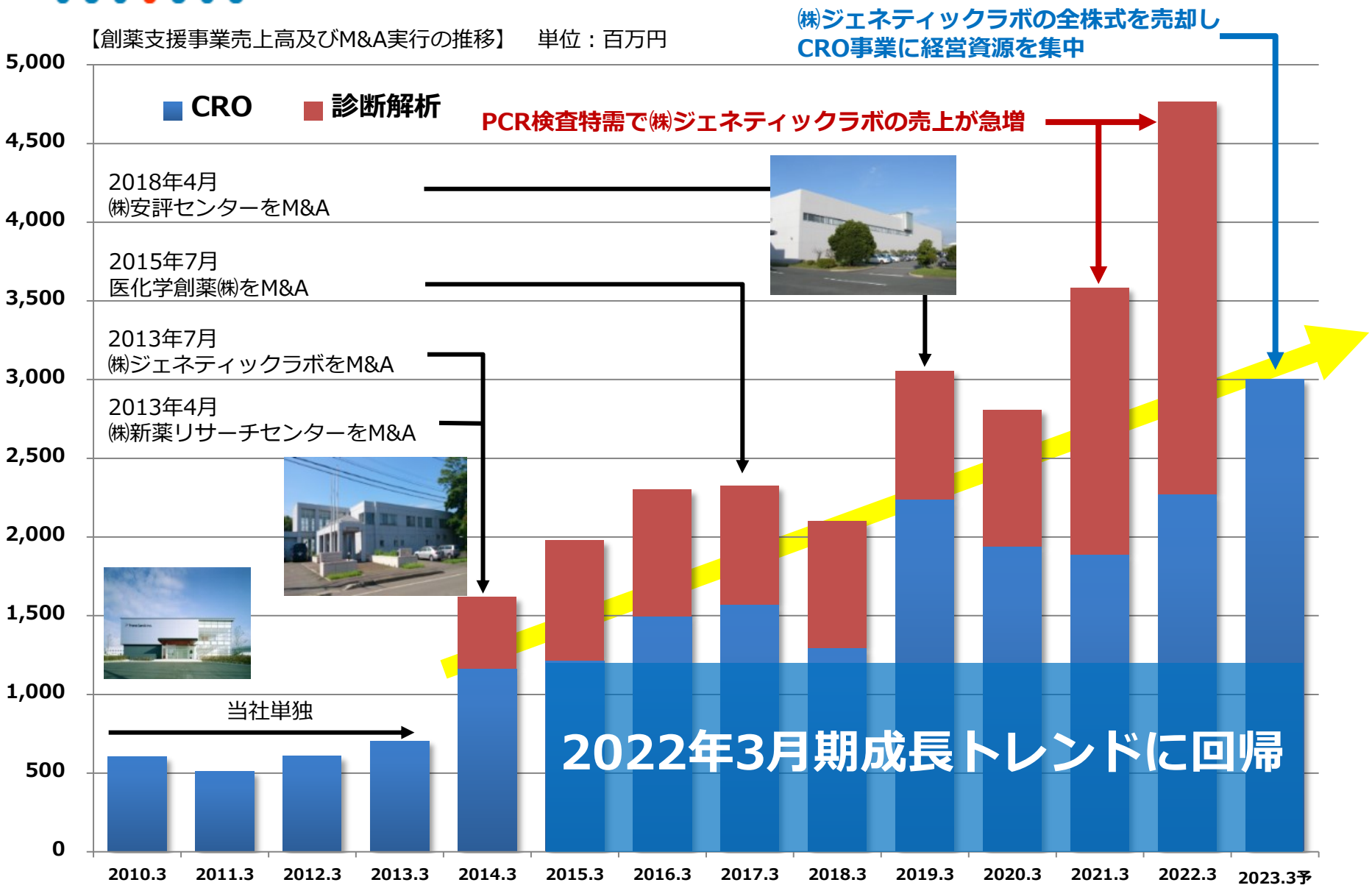
M&A

・従前同様に、現在展開している創薬支援サービスの補完・強化が期待できる事業体について、M&Aを継続的に検討する。

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

成長戦略_創薬支援事業売上高推移及び来期見通し

Trans Genic Inc.

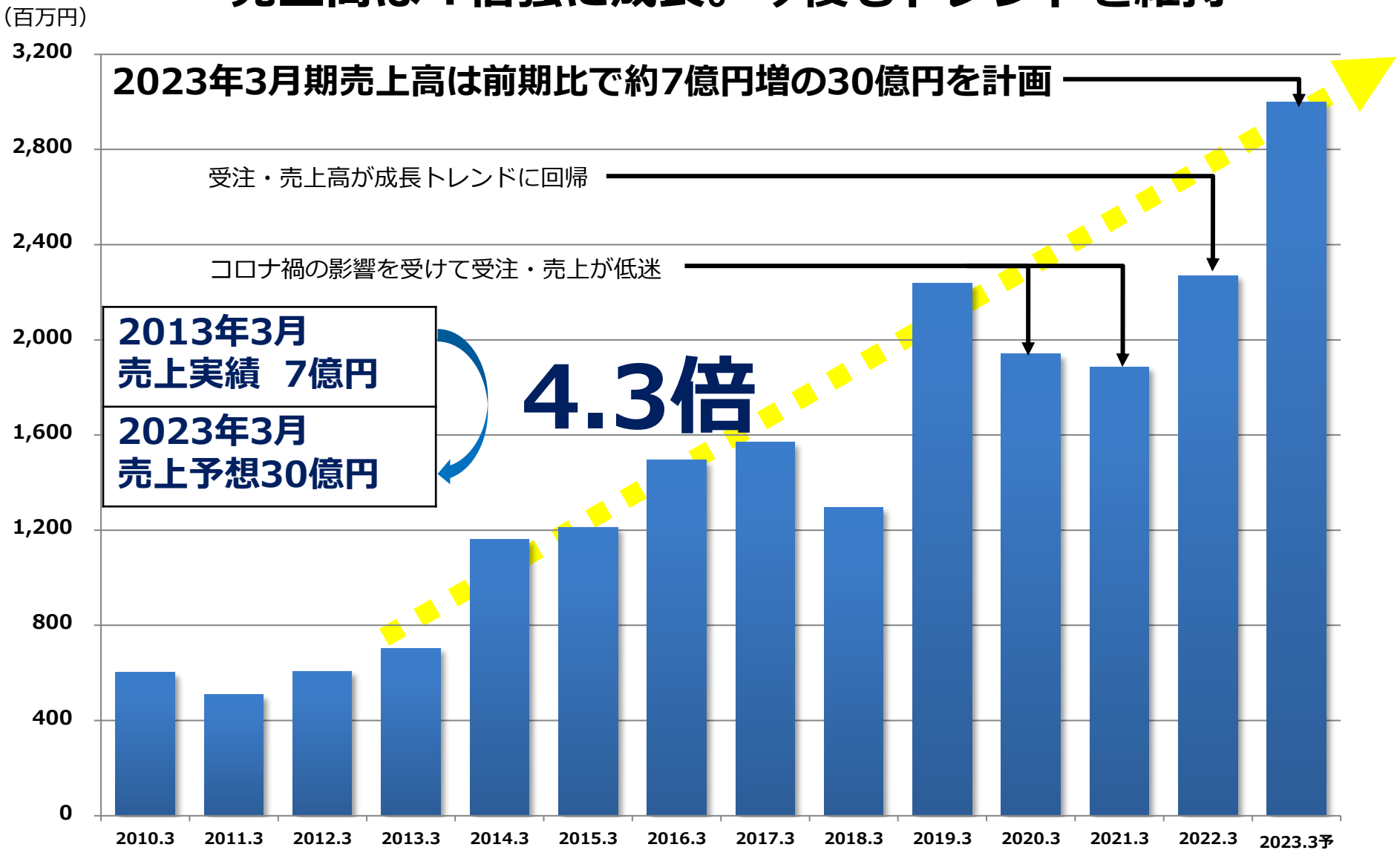


Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

成長戦略_CRO事業売上高推移及び来期見通し

TransGenic Inc.

売上高は４倍強に成長。今後もトレンドを維持

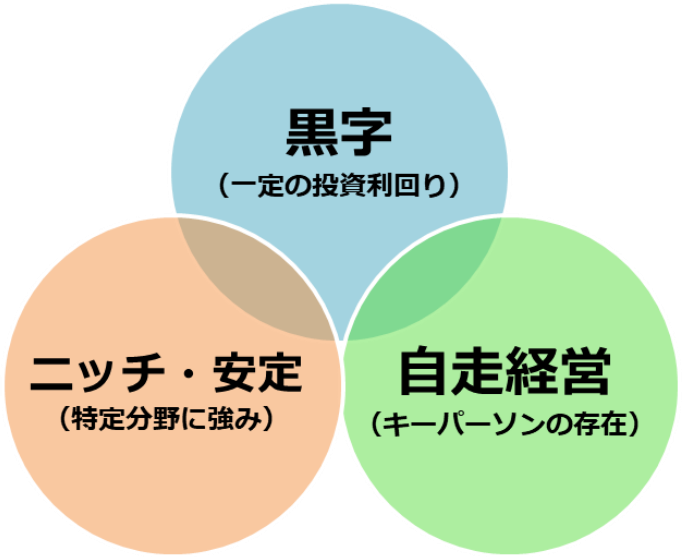


Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

成長戦略_TGBS事業（事業承継型M&A）

- 事業開始からここまでは、黒字、安定・ニッチ、自走経営をキーワードに投資効率・回収が良いEC事業及び商社事業等を中心にＭ＆Ａを展開。
- 事業開始以降の平均投資利回り(のれん償却前営業利益率)は30%弱。
- 事業開始以降の投資額累計は約16億円。収益基盤及び財務体質の強化に応じて、投資規模拡大を予定。

投資方針



１ｓｔ：2018～2021年3月期
投資効率が良く安定性の高い事業

EC・商社事業領域

TGM Tokyo Glass Materials
AKIHABARA Outlet Plaza www.outletplaza.co.jp
kizuki
GalaX GALAX CORPORATION
Lupex Japan Inc.

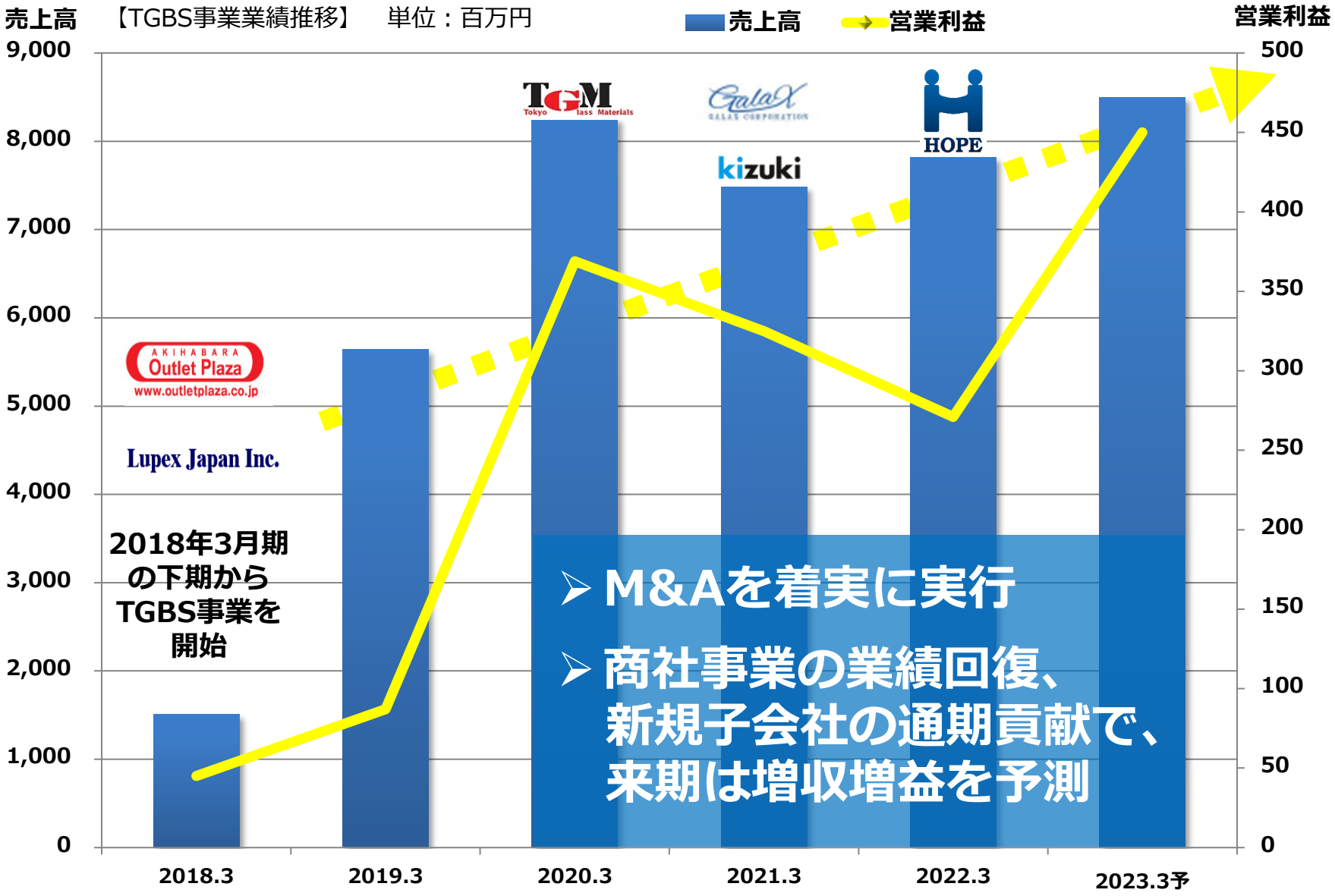
２ｎｄ：2022年3月期～
１ｓｔ投資領域及び相性が良い事業

HOPE

2021年9月1日付で株式会社ホープの全株式を取得

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

成長戦略_TGBS事業業績推移及び来期見通し



Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

Ⅲ. 2023年3月期連結業績予想

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

Consolidated Business Forecast for the Year Ending March 2023

2023年3月期 連結業績予想

TransGenic Inc.

- ジェネティックラボの全株式売却により減収減益
- PCR検査特需を除いた売上・利益は過去最高の業績数値

単位：百万円		2023年3月期（通期予想）	2022年3月期（実績）	増減	
				百万円	%
売上高		**11,500**	**12,576**	**△1,076**	**△8.6**
	創薬支援事業	3,000	4,767	△1,767	
	TGBS事業	8,500	7,822	677	
	本社・連結調整	-	△13	13	
営業費用		**10,950**	**10,739**	**210**	**2.0**
	創薬支援事業	2,700	2,991	△291	
	TGBS事業	8,050	7,551	498	
	本社・連結調整	200	196	3	
営業利益		**550**	**1,837**	**△1,287**	**△70.1**
	創薬支援事業	300	1,776	△1,476	
	TGBS事業	450	271	178	
	本社・連結調整	△200	△210	10	
経常利益		**500**	**1,819**	**△1,319**	**△72.5**
親会社株主に帰属する当期純利益		**330**	**1,876**	**△1,546**	**△82.4**

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

Ⅳ. その他

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

㈱ジェネティックラボの株式売却について

Trans Genic Inc.

コア事業への経営資源集中を目的として同社株式を売却

【同社株式売却後のグループの財政状態及び損益構造】 単位：百万円

（コロナ前）

財政状態

	2020年3月		2022年3月
純現金預金※	△166	➡	2,798
自己資本	4,416		6,532

※純現金預金は、期末現金預金-期末有利子負債残高（社債、借入金、リース債務）で計算

損益構造

	2020年3月		来期計画
連結売上高	10,179※	➡	11,500
連結営業利益	147※		550

※2020年3月期連結売上高及び連結営業利益は、診断解析事業（㈱ジェネティックラボ）の売上高866百万円及び営業利益26百万円を除外

29億円増加
21億円増加

強化

13%増収
4億円増益

成長

成長投資加速
利益基盤拡大

2020～2022年3月投資実行状況

CRO事業設備投資累計額	688
M&A投資実行額	983
合計	1,671

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.

Trans Genic Inc.

～人々の健康と豊かな暮らしのために～

https://www.transgenic.co.jp

Copyright© TransGenic Inc. All Rights Reserved.